

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-(ア)	
担当部署名	生涯学習部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-1-(1)	
事業内容	宮古島市neo歴史文化ロード「綾道(あやんつ)」として、「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心とした伝説と民話に彩られたロマン溢れる「宮古島市特異の歴史と文化」を巡る新たな散策コース等の整備を行い、新たな観光資源の一つとして広く活用する。令和2年度は新コースである四島・西辺コースの策定とパンフレットの印刷製本を行い、関連して文化財案内板の設置と以前に発刊した砂川・友利コース、下地・来間コース、戦争遺跡コースの改版印刷を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a)当初予算額	30,751	34,699	26,023	10,270	17,242
		(b)予算現額	30,751	34,699	22,210	10,270	18,243
		(c)増減額(b-a)	0	0	▲ 3,813	0	1,001
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	30,751	34,699	22,210	10,270	18,243
	B.執行済額		30,419	32,971	22,068	9,419	17,742
	うち交付金充当額		24,335	26,376	17,654	7,535	14,193
	次年度繰越額					0	
	執行率(%) (B/A)		98.9%	95.0%	99.4%	91.7%	97.3%
予算の状況の説明		既存の「綾道」コースパンフレットの内「下地・来間コース」「砂川・友利コース」「戦争遺跡コース」の改版増刷を行うため1,001千円増額を行っている。 需要費353千円、委託料127千円の契約時による契約残と、市庁舎移転伴う会計年度職員の交通費20千円の減額が生じたため、500千円の不用が生じたが、事業執行は全て完了している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	上野野原・下地東コースの策定	目 標	(1コース)	—	()		
		実 績	策定中	—			
	綾道～四島・西辺コースの策定とパンフレット作成	目 標	()	(1コース)	()		
		実 績		1コース			
	宮古島市文化財WEB公開システム追加更新「綾道～四島・西辺コース」分	目 標	()	(1コース)	()		
		実 績		1コース			
	標柱及び説明板の10基の設置	目 標	()	(10基)	()		
		実 績		9基			
策定済3コースのパンフレット改版印刷(砂川・友利/下地・来間/戦争遺跡)	目 標	()	(3コース)	()			
	実 績		3コース				
平成24～30年度に策定した「綾道」コース上の文化財の環境美化(除草清掃)	目 標	(年5回)	(年5回)	()			
	実 績	完了	完了				
達成状況説明	・新規コース(四島・西辺コース)を策定し、同コースの散策パンフレットを12,000部作成した。 ・宮古島市文化財Web公開システム追加更新については、四島・西辺コースと新規文化財の追加登録を行った。 ・案内版の設置については、1基を四島・西辺コースの全体マップとして、他8つより大型の案内版を設置したため、案内版9基に変更し設置完了した。 ・以前発刊した3コースの内容を一部改稿し増刷発行した。 (砂川・友利コース:6,000部、下地・来間コース:2,000部、戦争遺跡編:2,000部)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・満足度が向上したか(80%以上)を含め、散策コースを活用した観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
		実 績		93.60%	—		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症の影響により、例年空港待合室で実施していた観光客アンケートをR3年5月下旬に延期したが、緊急事態宣言発出によりデータ収集できなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの流行により、島外からの観光客が減少した反面、修学旅行の代替として、文化財を活用した島内旅行への関心が市内小中学校を中心に向上していることから、児童・生徒および学校教諭のニーズも考慮したパンフレットや、看板、Web公開システムの運用を行う必要がある。	発刊したパンフレットを市内の学校や教育関連機関に配布するほか、Web公開システムにストリートビューによる文化財の全体像を追加することで、視覚的な情報を強化する。併せて、多言語化へ対応するため、既存の文化財案内板や説明板にQRコードを設け、Web公開システムの外国語ページへ誘導し、安全や管理上の理由から立ち入ることの難しい文化財を知る機会を提供する。 また、案内板や説明板から離れてもコースや文化財を確認できるようにコースマップを掲載し、既存の看板とWeb公開システムを連動させることで幅広い客層に対応できるようにする。
今後の取り組み方針		
既存の文化財説明板や案内板・標柱などにQRコードを添付し、Web公開システムとリンクさせることで、文化財を訪れた市民や観光客が策定した綾道コースのルート確認や、文化財の詳細な説明等の供用を可能とし、Web環境を利用した文化財観覧環境の拡充を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
宮古島市 17,742千円 賃金 1,587千円 期末手当 225千円 旅費 84千円 需要費 2,774千円 委託料 13,072千円 個人(2名) 1,587千円 個人(2名) 225千円 個人(2名) 84千円 有限会社 アプロ 1,199千円 有限会社 アプロ 574千円 有限会社 アプロ 396千円 有限会社 アプロ 605千円 サン美術 1,722千円 すこやかネット 6,901千円 株式会社八島建設コンサルタント 2,904千円 個人【イラストレーター】 1,545千円 綾道コース策定調査員への賃金 綾道コース策定調査員への期末手当 綾道コース策定調査員への交通費 四島・西辺コースの印刷製本請負業務 砂川・友利コース 改版印刷の請負業 下地・来間コース 改版増刷の請負業 戦争遺跡コース 改版増刷の請負業務 案内版の設置に係る業務委託 物件環境整備に係る業務委託 宮古島市WEB公開システムの追加更新 (四島・西辺コースと新規文化財の追加) 散策パンフレットデザインレイアウトに係る業務委託				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
17,742	17,742	14,193	3,549	0
資金の流れ、評価・費目	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○環境整備除草清掃作業業務はすこやかネットに委託しており、また地方自治法施行令167条の2第2項に該当していることから適正であったと考えている。 ○予算規模について、事前に見積書を徴取するなどしており適正であると考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	宮古島市							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	伊良部地区観光地総合整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	観光商工部 観光商工課	事業実施 (予定)年度	平成28年～令和2年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	伊良部地区の各観光地における受入機能強化、便益施設の整備を行うため、通り池駐車場整備工事を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和3年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額						66,250
		(b) 予算現額						60,393
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	▲ 5,857	
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	0	0	0	0	60,393	
	B. 執行済額						60,393	
	うち交付金充当額						48,314	
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
予算の状況の説明		予算の増減額▲5,857は入札差金によるもの。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)			達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	通り池の駐車場整備工事	目 標	(工事の完了)	()	()	()	()	
		実 績	工事の完了					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成 状 況 説 明	年度内に工事を完了しており、目標を達成することができた。 駐車場の駐車容量を、元々の乗用車30台分、大型バス4台分多く駐車できるように拡張整備した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)			基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	通り池駐車場整備工事の完了	目 標	()	(工事の完了)	()	()	()	()
		実 績		工事の完了				
	【R3成果目標】 観光客の利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	()	(80%以上)	()	()	()
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	年度内に工事を完了しており、目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・計画通り、通り池駐車場整備工事を完了した。	駐車場を整備したことにより、利便性、安全性が保たれた施設管理が可能となるので、今後は当該施設における集客効果及び観光客の満足度の向上を図っていく。
今後の取り組み方針		
通り池駐車場の適正な管理により、宮古島市を訪れる観光客の満足度を向上させる。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>60,393</td><td>60,393</td><td>48,314</td><td>12,079</td><td>0</td></tr> </table> 宮古島市 60,393千円 → 工事請負費 60,393千円 → 株式会社古波蔵組 60,393千円 （ ・通り池駐車場の整備 ）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	60,393	60,393	48,314	12,079	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
60,393	60,393	48,314	12,079	0										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○入れによって事業者を選定し、いずれも適正に事業を執行した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	トロピカルフルーツパーク機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部署名	農林水産部 農村整備課	事業実施(予定)年度	平成28年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受け入れ体制の整備		
事業内容	トロピカルフルーツパークの観光誘客を図るため、遠路・大型駐車場・マルシェ広場を整備し民間企業を誘致する。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(R4年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3000			12,694	14,056
		(b) 予算現額	3000			12,694	14,056
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	3,000	0	0	12,694	14,056	
	B. 執行済額	2808			12,694	14,056	
	うち交付金充当額	2246			10,155	11,244	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	93.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初予算のとおり予算執行し完了した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	事業候補者のヒアリング及び事業条件の検討	目 標	(基本設計の実施)	事業候補者のヒアリング及び事業条件の検討			
		実 績	基本設計の実施	事業候補者のヒアリング及び事業条件の検討			
		目 標	()	()			
		実 績					
達成状況説明	事業候補者のヒアリングを実施し事業条件を検討した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R6年度)
	事業候補者のヒアリング及び事業条件の検討	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	【R6成果目標】年間利用客数49,474人	目 標	()	()	()	()	(49,474人)
		実 績					
	進捗状況説明	事業候補者のヒアリングを実施し事業条件を検討した。 実施設計及び整備工事については、農林水産省の補助メニュー活用を目指し、R8年度供用開始を目標として変更したい。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	宮古島市は、農水産物、工芸品を活用した特産品などの地域資源を有しているが、これらの地域資源が現状では十分に活用されておらず、観光客の誘客や新たな観光メニュー開発等による「観光振興」、観光業と連携した「地場産業の活性化」及び新たな「雇用の創出」などへの活用が課題となっている。	宮古島市内の地域資源を「観光振興」「地場産業の活性化」「雇用の創出」に結びつけるため、観光客誘客の基盤となる施設の機能強化、新たな特産品開発、宮古島市の有する観光情報と発言等を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
実施設計及び整備工事については、農林水産省の補助メニュー活用に向けて、以下のとおりスケジュールを変更する。 R4年度:実施設計 R5年度～R7年度:整備工事及び民間事業者施設整備工事 R8年度:供用開始		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,056</td><td>14,056</td><td>11,244</td><td>2,812</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	14,056	14,056	11,244	2,812	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
14,056	14,056	11,244	2,812	0										
宮古島市 14,056 千円 → 委託料 14,056 千円 → 沖縄UDS株式会社 14,056 千円 トロピカルフルーツパーク 事業企画推進業務委託														
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○特記仕様に基づき見積書を徴し設計を行ったため適正な規模であった。											
		受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	観光地アクセス道路環境美化路線強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(②)-エ	
担当部署名	建設部 道路建設課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	美しい島づくりを推進するため、環境アクセス道路の環境美化強化(除草・清掃)を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	34,912	36,983	37,271	37,271	42,559
		(b)予算現額	34,912	36,983	37,271	37,271	43,048
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	489
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	34,912	36,983	37,271	37,271	43,048
	B.執行済額		29,152	34,599	34,881	34,475	41,481
	うち交付金充当額		23,321	27,679	27,905	27,580	32,016
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		83.5%	93.6%	93.6%	92.5%	96.4%
予算の状況の説明		道路清掃作業員を18名雇用し道路清掃作業を実施したが、作業員の欠員・欠勤期間等があり不用額が1,567千円発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光地アクセス道路等の環境美化実施(32路線)	目 標	(32路線)	(作業実施)	(作業実施)	(作業実施)	
		実 績	32路線	作業実施	作業実施	作業実施	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	宮古島市の主要観光地へのアクセス道路環境美化を図るため、市道32路線を選定し、18名を雇用し道路清掃作業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		79.10%	83.50%	—	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症の影響により、例年空港待合室で実施していた観光客アンケートをR3年5月下旬に延期したが、緊急事態宣言発出によりデータ収集できなかった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	亜熱帯性気候で植物が繁茂しやすく、台風襲来後や豪雨時の路面への石粉の流出・堆積が多い事など、観光地としての景観維持や安全安心な観光地として道路の安全性を確保する必要がある。	優先的に環境美化を実施する路線を見直し、作業環境の改善及び人員を確保し、必要に応じた配置等を行う。 また、路面への砂利等の堆積を改善する必要がある。
今後の取り組み方針		
関係機関との連携を拡充させ、対象路線及び環境美化作業の頻度を見直すとともに、R3年度は除草作業に加えて路面清掃を実施することにより、観光地アクセス道路の更なる環境美化を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>41,481</td><td>40,020</td><td>32,016</td><td>8,004</td><td>1,461</td></tr> </table> 宮古島市 (42,367千円) 賃金18名 (39,325千円) 需用費 (3,033千円) (道路清掃作業に伴う賃金職員) (事業実施に係る消耗品、燃料費、修繕費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	41,481	40,020	32,016	8,004	1,461
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
41,481	40,020	32,016	8,004	1,461										
資金の流 れ・費 目・使 途の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・賃金職員は、本市条例・規則に基づき審査、決定しており妥当である											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・台風等災害で出勤できない不測の日が生じたが、予算規模は適切だった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目、使途については支出等に関する書類により確認し、適当である。											

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	観光地公園環境美化強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部課名	建設部 都市計画課 観光商工部 観光商工課	事業実施 (予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	美しい島づくりを推進するため、宮古島観光地公園5箇所(東平安名崎公園、パイナガマ公園、カママ嶺公園、大嶽城趾公園、サニツ浜公園)及び伊良部島観光地公園7ヶ所(サバオキ公園、フナウサギバナ、白鳥公園、通り池、佐和田の浜、渡口の浜、牧山公園)の観光地として利用されている公園の環境美化清掃を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算 の 状況	(a)当初予算額	11,934	21,723	22,382	22,797	22,913
		(b)予算現額	18,943	18,813	19,718	19,341	22,307
		(c)増減額(b-a)	7,009	▲2,910	▲2,664	▲3,456	▲606
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	18,943	18,813	19,718	19,341	22,307
	B. 執行済額		16,821	18,743	18,599	17,536	22,307
	うち交付金充当額		13,456	14,994	14,879	14,029	17,845
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		88.8%	99.6%	94.3%	90.7%	100.0%
予算の状況の説明		・当初計画通りすべて実施することができた。 ・不用額605千円は入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光地公園12ヶ所の環境美化作業実施	目 標	(12箇所)	(12箇所)	(12箇所)	(12箇所)	
		実 績	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所	
	【参考指標】 定期的美化作業 宮古島:年12回(月1回程度)	目 標	宮古島:年12回 (伊良部島:年4～5回)	宮古島:年12回 (伊良部島:年4～5回)	宮古島:年12回 (伊良部島:年4～5回)	宮古島:年12回 (伊良部島:年4～5回)	
		実 績	宮古島:年12回 伊良部島:年4～5回	宮古島:年12回 伊良部島:年4～5回	宮古島:年12回 伊良部島:年4～5回	宮古島:年12回 伊良部島:年4～5回	
達成 状況 説明	宮古島観光地公園5箇所(東平安名崎公園・パイナガマ公園・カママ嶺公園・大嶽城趾公園・サニツ浜公園)においては、それぞれ月1回以上の除草作業等を実施した。 伊良部島観光地公園は7箇所(サバオキ公園4回、フナウサギバナ5回、白鳥公園5回、通り池5回、佐和田の浜5回、渡口の浜4回、牧山公園5回)の除草作業等を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)
	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	()	()
		実 績		93.6%	—		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗 状況 説明	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、美化環境についての観光客アンケートが未実施となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1)国指定名勝でもある東平安名崎公園の環境美化において、例年園路沿いを作業対象としているが、当初の作業対象外となっている史跡名勝天然記念物第2種保護地区のススキが繁茂し景観を損ねていた。 2)定期的に除草を行っているが、5～10月の間は雑草の成長が早く作業が追いつかない。 3)入域観光客数の増加に伴い、今後も観光地公園の来園者数の増加が見込まれるが、その分観光客による放置ゴミ等による美化環境への影響が懸念される。	1)史跡名勝天然記念物の現状変更等申請を行った上で清掃箇所を追加し、ススキの除草作業を実施した。その結果、元々自生していたテッポウユリが開花し、地元の新聞にも掲載された。R3年度も同公園内の清掃箇所追加を検討し継続して実施する。 2)面積が大きい作業観光地公園の除草作業については、除草範囲を分けて委託を検討する必要がある。 3)観光客の増加が観光地公園の美化環境にどのような変化を及ぼすかを把握し、変化に対応した公園環境美化作業内容について検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
1)観光地として人気のある公園については効果的な美化方法を検討し、柔軟に対応することにより事業効果を上げていく。 2)必要に応じて今後、除草作業の範囲の拡大や清掃活動の回数を増やすなど、公園美化環境の最適化に向けて取り組んでいく。 3)観光客の増加による公園の美化環境の変化を把握し、観光地公園としての景観形成を在り方を検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
22,307	22,307	17,845	4,462	0

宮古島市
22,307千円

委託料
22,307千円

(有)狩俣造園
3,608千円

(有)仲間開発
4,302千円

(株)ビザライ
1,408千円

(有)大地造園
3,080千円

(社)宮古島市シルバー人材センター
4,290千円

特定非営利活動法人
すこやかネット
1,579千円

(社)宮古島市シルバー人材センター
4,040千円

東平安名崎公園環境美化委託業務

東平安名崎公園環境美化委託業務
(その2)

パйнаガマ公園環境美化委託業務

大嶽城址公園環境美化委託業務

カママ嶺公園環境美化委託業務

サニツ浜公園環境美化委託業務

伊良部地区観光地公園
環境美化委託業務

資金 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定により公表を行った上での随意契約と指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。 ○費用、使途については、事業目的の観点から必要かどうかを検討し、額の確定時において確認しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	クルーズ船観光受入体制強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部署名	観光商工部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	クルーズ船観光客の受入体制強化に向け、観光案内所の運営(開設準備)、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を行い、観光客の満足度を高め、誘客を図るのが主目的であったが、コロナウイルス感染症の影響で当初200回以上想定されていたクルーズ船の寄港が0回になった。委託事業者と協議の上、本業務は当初予定より大幅に業務を縮小し、令和2年度に完成したクルーズ専用ターミナルの観光案内所開設準備を主業務として行った。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,000	25,000	25,000	30,000	
		(b) 予算現額	15,000	25,000	24,364	8,623	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 636	▲ 21,377	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		15,000	25,000	24,364	8,623	0
	B. 執行済額		14,361	16,606	21,443	7,999	
	うち交付金充当額		11,489	13,284	17,154	6,399	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		95.7%	66.4%	88.0%	92.8%	#DIV/0!
予算の状況の説明		クルーズ船の寄港キャンセルは1～2ヶ月前に確定するため、当初は寄港再開を見越して、4月に29,767千円で出来高払いの委託契約を結んだ。しかし、寄港再開の見通しが立たないため、10月に8,623千円に変更契約で減額。不用額の624千円は、委託業務の出来高精算によるもの。当初予算の大幅な減額は、コロナウイルス感染症の影響で当初200回程度予定していた寄港が、すべてなくなったことが主な理由。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	・観光案内所の設置、運営	目 標	(寄港時に実施)	(寄港時に実施)	(寄港時に実施)	(寄港時に実施)	
		実 績	寄港時に実施	寄港時に実施	寄港時に実施	寄港なし	
	・臨時CIQ設置	目 標	(寄港時に実施)	(寄港時に実施)	(寄港時に実施)	(寄港時に実施)	
		実 績	寄港時に実施	寄港時に実施	寄港時に実施	寄港なし	
	・歓送迎セレモニー	目 標	(初寄港時に開催)	(初寄港時に開催)	(初寄港時に開催)	(初寄港時に開催)	
		実 績	初寄港時に開催	初寄港時に開催	初寄港時に開催	寄港なし	
	・二次交通対策	目 標	(案内板設置)	(案内板設置)	(案内板設置)	(案内板設置)	
		実 績	案内板設置	案内板設置	案内板設置	なし	
	・パンフレットなど情報発信	目 標	(観光マップ等配布)	(観光マップ等配布)	(観光マップ等配布)	(観光マップ等配布)	
		実 績	観光マップ等配布	観光マップ等配布	観光マップ等配布	なし	
	・アンケートなど情報収集	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
実 績		実施	実施	実施	なし		
達成状況説明	・観光案内所の設置、運営:クルーズ船の寄港がなく、新ターミナル観光案内所の開設準備のみ行った。 ・臨時CIQ設置:クルーズ船の寄港がなく、実績なし。 ・歓送迎セレモニー:クルーズ船の寄港がなく、実績なし。 ・二次交通対策:クルーズ船の寄港がなく、実績なし。 ・パンフレットなど情報発信:クルーズ船の寄港なし。既存のホームページの更新作業、PR動画作成などを行った。 ・アンケート等情報収集:クルーズ船の寄港がなく、実績なし。						
成果目標(指標)及び進捗状況			基準値 (H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)
	・クルーズ船観光客数	目 標	()	(429,550人)	(506,800人)	(63,000人)	()
		実 績	363,968人	454,157人	327,932人	0人	
	【参考指標】 ・クルーズ船寄港回数	目 標	()	()	()	()	()
		実 績	147回	153回	119回	0回	
進捗状況説明	令和2年度はコロナウイルス感染症の影響で、クルーズ船の寄港なし。成果目標のクルーズ船観光客数も0人となった。令和2年度にはクルーズ船専用ターミナルが完成しており、観光案内所の開設準備、既存のホームページの更新などを行った。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	- 令和2年度は、当初200回程度の予約が入っていたが、コロナウイルス感染症の影響でクルーズ船の寄港なし。 - 令和2年度にクルーズ船専用バースとターミナルが完成した。 - クルーズ船の寄港キャンセルは、寄港日の1~2ヶ月前に確定するため、受入準備を整えておく必要がある。 - クルーズ船の再開は、国内クルーズからになる予定。予約の大半を占める外国船の寄港に関しては、コロナウイルス感染症の収束まで、厳しいと思われる。	- 新ターミナル(観光案内所)の開設準備は、完了済み。 - コロナ禍で通訳などインバウンド対応の人材が島外に流出しており、クルーズ船寄港再開後の人手不足が懸念される。 - 二次交通(バス・タクシー)についても、上記同様の懸念があり、クルーズ船寄港再開に向け、地域で体制づくりが必要。
今後の取り組み方針		
- 観光関連事業者と連携して、ターミナル周辺の街歩きなど観光案内所で提供できる新しいメニューを検討する。 - 新ターミナルにおいて、二次交通事業者等と連携し、交通案内の充実、安全な動線確保など、利便性向上に努める。 - 観光案内所で動画を使った寄港地PRやマナー啓発など、観光客にわかりやすく情報を提供する。 - クルーズ船の再開は、国内クルーズからになる予定。予約の大半を占める外国船の寄港に関しては、コロナウイルス感染症の収束まで、厳しいと思われる。 - クルーズの安全性について、住民向けに周知が必要。周知方法を検討する。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		7,999	7,999	0
		交付金充当額	市町村負担金	
		6,399	1,600	
宮古島市 7,999千円 委託料 7,999千円 宮古島観光協会 7,999千円 - 新ターミナル観光案内所の開設準備 - 既存のホームページの更新作業 - PR動画作成				
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明	
使途の点検・費目・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき、随意契約を行っており、妥当であったと考えている。	
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△コロナウイルス感染症の影響で、クルーズ船の寄港が0になり30,000千円の当初予算を大幅に減額した。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、委託事業者と協議しながら事業を進めていること、精算段階で検査を実施していることから、目的に即し、必要なものであったと判断した。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		宮古島市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	誘客促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(イ)	
担当部署名	観光商工部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開	
事業内容	本市への観光誘客を図るため、国内外の観光イベントでのプロモーション活動の実施、国内外の新規航空路線就航に向けたPR活動、官民が連携した「宮古島市観光推進協議会」の開催により各種取組の推進を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(b) 予算現額	25,000	28,000	21,000	9,000	6,780
		(c) 増減額(b-a)	20,370	21,000	19,800	7,500	6,705
		(d) 繰越額	▲ 4,630	▲ 7,000	▲ 1,200	▲ 1,500	▲ 75
		A. 計(b+d)	—	—	—	—	—
	B. 執行済額	うち交付金充当額	20,370	21,000	19,800	7,500	6,705
		次年度繰越額	20,068	19,511	19,182	7,259	5,699
		執行率(%) (B/A)	16,054	15,608	15,345	5,807	4,559
		0	0	0	0	0	
	予算の状況の説明	98.5% 92.9% 96.9% 96.8% 85.0%					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
	①観光PRイベント等への参加	目 標	(イベント参加)	(イベント参加)	(イベント参加)	(イベント参加)	
		実 績	イベント参加	イベント参加	イベント参加	イベント参加なし	
	②観光マネジメント業務の実施	目 標	(—)	(—)	(業務実施)	(業務実施)	
		実 績			業務実施	業務実施	
	達成状況説明	【観光PRイベント等への参加】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い観光PRイベントへの参加ができなかった。 【観光マネジメント業務】 第2次宮古島市観光振興基本計画で定めた観光振興に関する施策を官民一体となって推進し、宮古島市の活性化を図る事を目的とする宮古島市観光推進協議会(3回)及び観光実務担当者会議(4部会・各2回)を開催した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	入域観光客数1,000,000人以上	目 標	()	(710,000)	(1,000,000)	(1,150,000)	()
		実 績		1,143,031	1,061,323	359,592	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	宮古島市への入域観光客は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、クルーズ船の全キャンセル、航空路線の減便、緊急事態宣言中の県外、島外からの来島自粛をお願いしたことで359,592人と大幅に減少した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で航空路線の減便、クルーズ船の全キャンセル等で入域観光客数が大幅に減少した。 ・観光マネジメント業務において、各種観光問題について官民で議論し、課題の共有を図った。	・入域観光客数を回復するために、感染症対策の周知徹底と国内PRイベント等へ参加し宮古島をPRしていく必要がある。また、下地島空港を発着する直行便を利用した宮古島観光についてもPRしていく必要がある。 ・観光マネジメント業務で共有した課題の解決策を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
・国内PRイベント等への参加時には新型コロナウイルス感染拡大防止へ留意するとともに、PR方法やタイミングに配慮し実施する。 ・羽田政策枠コンテスト提案時の施策でもあるHaNTイベント(アフターコロナの旅の楽しみ方やワーケーションを照会するイベント)へ参加し宮古島をPRする。 <下地島空港(スカイマーク)が羽田政策枠コンテストで、三沢市と僅差であったためトライアル期間を設けられている> ・観光マネジメント業務で共有した課題の解決に向けて、関係各部署と連携し事業を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,699</td><td>5,699</td><td>4,559</td><td>1,140</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,699	5,699	4,559	1,140	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,699	5,699	4,559	1,140	0										
<pre> graph LR A[宮古島市 5,699千円] --> B[事務費 0千円] A --> C[委託料 5,699千円] B --- D[観光イベント等への参加旅費等] C --> E[株式会社JTB総合研究所 5,699千円] E --- F[観光マネジメント業務に係る委託業務] </pre>														
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の実施にあたっては公募型プロポーサル方式により、委託事業者を選定したほか、実績、知識等の面で信頼性がある事業者を選定して契約しており、支出先としては妥当であると考ええる。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△新型コロナ感染症の影響で一部実施できない事業があった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、事業完了後に検査を行った結果適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	エコアイランド宮古島ブランド化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア	
担当部署名	企画政策部 エコアイランド推進課	事業実施(予定)年度	平成28年～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進		
事業内容	エコアイランド宮古島をブランド化していく上では、多くの市民がエコ関連の取り組みに関わることが重要だが、現状は一部の市民に留まる。多くの市民参加を促す為には、楽しみながら参加できる仕組みづくりが必要なことから、そのような場づくりとそうした活動を広く情報発信・共有する仕組みづくりを行うことで、島内のエコ活動が活発化し、宮古島ファンやリピーター、支援者の増加を図ることを目的とする。 令和2年度においては、市民や事業者のエコへの関心を高めるため、エコの取り組みに対する情報発信やイベント等を開催するとともに、これまでの取組の効果検証を図り、持続的な運営方法を検討する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,000	12,000	18,925	10,000	7,000
		(b)予算現額	3,000	12,000	18,925	10,000	7,000
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	—	—	0		
	A. 計(b+d)	3,000	12,000	18,925	10,000	7,000	
	B. 執行済額	2,997	11,685	17,895	8,287	6,942	
	うち交付金充当額	2,397	9,348	14,315	6,629	5,554	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.9%	97.4%	94.6%	82.9%	99.2%	
予算の状況の説明	計画通りに事業を執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度			
	・ウェブサイトの運営(エコ活動の取材及びSNSの活用等)及び効果検証	目 標	活動の取材(15回以上)、サイト更新(30回以上)、SNS更新(50回以上)	活動の取材(15回以上)、サイト更新(30回以上)、SNS更新(50回以上)	()	()	
		実 績	活動の取材60回、サイト更新回数80回、SNS更新126回	活動の取材48回、サイト更新回数55回、SNS更新98回			
	・市民が参加できるイベント等の開催及び効果検証	目 標	(1回以上)	(1回以上)	()	()	
		実 績	1回	0回			
達成状況説明	・ウェブサイト更新の回数は予定回数を大きく上回ることができた。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がある中で島外の自治体や団体等とWEB会議ツールを活用し取材をするなど、コロナ禍においてもエコアイランド公式サイトを発信を継続した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを開催することができなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・エコアイランドの標語(「千年先の、未来へ。」)の認知度:35.3%以上	目 標	()	()	()	(35.3%以上)	()
		実 績				40.50%	
	・理想通貨の認知度:21.3%以上	目 標	()	()	()	(21.3%以上)	()
		実 績				35%	
	進捗状況説明	・市民及び観光客を対象とした、エコアイランド宮古島の標語・ストーリーの認知度を測るアンケートを実施し、令和2年度成果目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（エコアイランドの標語（「千年先の、未来へ。」）の認知度） ・目標を上回ることができた。公式サイトへの記事・ロゴの掲載に加え、未来に残したいイメージをポスターとして作成し配布するなど、地道な取り組みを行ったことが認知度向上につながったと考えている。 （理想通貨の認知度向上） ・目標を上回ることができたが、今後も認知度向上を図る施策を実施していく。	（エコアイランドの標語（「千年先の、未来へ。」）の認知度） ・市内においては、記者会見等に使用するバックボードや観光関係イベントに使用する法被にロゴマークを用いるなど、拡がりが見えた。また、民間事業者からも標語及びロゴマークを活用して商品開発を行いたいといった声もあり、今後の新たな展開に向け取り組みを継続していく。 （理想通貨の認知度向上） ・市民や団体・企業等によるエコ活動のさらなる増加など理想通貨を配布する機会、及び、理想通貨が利用できる店舗等の拡大を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
ブランド化事業を通して構築した公式サイトをはじめ、標語や理想通貨、エコ広報誌「島の色」、企業版認定制度「エコアクションカンパニー認定制度」といった、コミュニケーションプラットフォームにおける様々なツールの効果が現れきている。 今後も継続して取り組むことにより、エコアイランド宮古島のさらなるブランド化を推進する。		

資金の流れ														
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,942</td><td>6,942</td><td>5,554</td><td>1,388</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,942	6,942	5,554	1,388	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,942	6,942	5,554	1,388	0										
宮古島市 6,942千円 委託料 6,942千円 （一社）離島未来ラボ 6,942千円 （コミュニケーションプラットフォーム構築業務）														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者はプロポーザル方式による公募・選定を行っている。 ○執行率99.2%となっていることから適正な規模であると考えている。 ○費目、使途については完成検査を実施しており、目的に即し、必要なものであった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	生鮮水産物流通条件不利性解消事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ		
担当部署名	農林水産部 水産課	事業実施 (予定)年度	平成25年～令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	農林水産業の振興		
					Ⅲ-1-(6)		
事業内容	離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、宮古島市に存する漁業協同組合(宮古島漁業協同組合、伊良部漁業協同組合、池間漁業協同組合)が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し、補助金を交付する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,315	950	1,140	2,144	870
		(b)予算現額	491	1,206	2,218	2,140	870
		(c)増減額(b-a)	▲2,824	256	1,078	▲4	0
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		491	1,206	2,218	2,140	870
	B. 執行済額		419	815	711	701	787
	うち交付金充当額		334	652	569	561	629
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		85.3%	67.6%	32.1%	32.8%	90.5%
予算の状況の説明		予算現額と執行済額に大きな乖離はなく適正に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	生鮮水産物の空路輸送に対する補助 (3漁協)	目 標	(出荷補助 (3漁協))	(出荷補助 (3漁協))	(出荷補助 (3漁協))	(出荷補助 (3漁協))	
		実 績	出荷補助 (3漁協)	出荷補助 (2漁協)	出荷補助 (2漁協)	出荷補助 (2漁協)	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	3漁協での実施を目標としているが、宮古島漁協については本事業に充てる職員が確保できなかったため2漁協での実施となった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (H23年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)
	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量 (145.0トン)	目 標	(250トン)	(190トン)	(153.2トン)	(145.0トン)	(118.9トン)
		実 績		109.5トン	104.5トン	127.0トン	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	新型コロナウイルスの影響により生鮮水産物の需要が減ったため、目標達成できなかった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新型コロナウイルスの影響により、生鮮水産物の需要減少が出荷量に影響を与えたと考えられる。今後も需要の変化や航空便の減便による流通の変化等が考えられる。	目標値達成に向けて事業実施者との間で意見交換等の協議を随時行い、島内・沖縄本島の需要の変化や流通状況の変化等の情報共有を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
各漁協との意見交換を随時行い、島内・沖縄本島の需要の変化や新型コロナウイルスの影響による流通状況の変化等の情報共有を行う。 また、本事業の補助を活用していない宮古島漁協に対して、事業の流れや事務処理手続き等について再度説明を行い、全漁協で輸送費補助を活用することにより離島の不利性を解消し、本市水産業の振興に寄与できるよう取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)												
		総事業費	交付対象事業費	<table><tr><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>7,520</td><td>787</td><td>629</td><td>158</td><td>6,733</td></tr></table>	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	7,520	787	629	158	6,733
交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
7,520	787	629	158	6,733								
宮古島市 7,520千円 補助金 787千円 伊良部漁業協同組合 533千円 （生鮮水産物の出荷にかかる輸送費の補助） （交付対象外経費:5,605千円 （受益者負担分:5,605千円） 池間漁業協同組合 254千円 （生鮮水産物の出荷にかかる輸送費の補助） （交付対象外経費:1,128千円 （受益者負担分:1,128千円）												
資金の流れ、 使途の点検評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明								
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○補助対象事業者である漁協は水産業協同組合法に基づき私的独占の禁止が謳われた組織であることから、支出先として妥当であると考え。								
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算現額と執行済額に大きな乖離はなく適正な執行であると考え。								
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○輸送費の実績値に対し要綱に基づき算定された額を補助しているため負担関係としては妥当である。								
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○費目、使途については遂行状況や実績報告でその都度確認を行っており、精算時の検査により目的に即し必要なものであったと判断した。								

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	宮古島市海業センター整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	農林水産部水産課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備	
事業内容	海業センターを機能強化することにより、養殖業の支援、栽培漁業の推進を図る為、水槽設置工事を実施する。						
効果発現年度	□当年度 ■後年度(令和4年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額		220,000	250,815	80,186	72,746
		(b) 予算現額		191,519	250,815	80,186	56,746
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 28,481	0	0	▲ 16,000
		(d) 繰越額				126,504	
		A. 計 (b+d)	0	191,519	250,815	126,504	56,746
	B. 執行済額			191,196	124,311	121,477	53,665
	うち交付金充当額			152,956	99,448	97,181	42,932
	次年度繰越額			0	126,504	80,186	
	執行率 (%) (B/A)		#DIV/0!	99.8%	49.6%	96.0%	94.6%
	予算の状況の説明		予算現額と執行済額に大きな乖離はなく適正に執行できた。				
	活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況			
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
水槽設備工事の完了		目 標	()	()	()	(水槽設備工事の実施)	
		実 績				水槽設備工事の完了	
機械設備工事の完了		目 標	()	()	()	(機械設備工事の実施)	
		実 績				機械設備工事の完了	
環境影響調査業務の完了		目 標	()	()	()	(環境影響調査業務の実施)	
		実 績				環境影響調査業務の完了	
達成状況説明	予定していた下記工事及び業務実施した。 水槽設備工事の内容 給水管敷設及び水槽施設内の整備 機械設備工事の内容 給水ポンプ及びフロアー等機械設備設置 環境影響調査業務の内容 施工後の陸域及び海域の生態系調査						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	水槽設備工事の完了	目 標	()	()	()	(水槽設備工事の実施)	()
		実 績				水槽設備工事の完了	
	機械設備工事の完了	目 標	()	()	()	(機械設備工事の実施)	()
		実 績				機械設備工事の完了	
	環境影響調査業務の完了	目 標	()	()	()	(環境影響調査業務の実施)	()
		実 績				環境影響調査業務の完了	
	進捗状況説明	事業期間内に、成果目標の委託及び工事を完了させた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・施設内への給水機械設備等が完了したことから、引き続き研修施設整備を進め、施設の機能強化を図る。	・研修施設整備にあたっては、計画的な事業執行に努める。
今後の取り組み方針		
・令和3年度は研修施設工事及びそれに伴う現場監理委託業務、備品購入を実施し、海業センターの機能強化を図る。 ・施設の効果的な活用に向け、種苗生産力の向上及び養殖技術向上などの研修支援についてどのように取り組んでいくべきかの再検討を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		53,665	53,665	42,932	10,733	0

宮古島市
53,665 千円

委託料
5,302 千円

株式会社 沖縄環境保全研究所
4,840 千円

合同会社 与那覇設備企画
462 千円

工事請負費
48,363 千円

有限会社 吉田産業
41,806 千円

大栄工業
6,557 千円

(海業センター環境影響等調査委託業務)

(海業センター設備工事管理委託業務)

(海業センター設備工事)

(海業センター水槽施設整備工事)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 △当初予算額から、19,081千円の不用額があり、予算額は適正ではなかった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	救命処置普及強化支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	消防本部 総務課		事業実施(予定)年度	平成28年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	観光客や市民等に重篤な傷病者が発生した際の応急体制を確保するため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a)当初予算額	18,495	7,402	7,411	7,414	7,755
		(b)予算現額	18,495	7,893	7,411	7,418	7,992
		(c)増減額(b-a)	0	491	0	4	237
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	18,495	7,893	7,411	7,418	7,992
	B.執行済額		16,007	7,893	7,386	7,418	7,990
	うち交付金充当額		12,805	6,315	5,909	5,933	6,391
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		86.5%	100.0%	99.7%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		応急手当普及員3名分の報酬231千円を補正及び、共済費3千円を事業間流用を行い、事業の計画通り、予算を執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・応急手当普及員:3名配置	目標	(3名)	(3名)	(3名)	(3名)	
		実績	3名	3名	3名	3名	
	・定例救命講習会の実施:21回 (普通救命講習Ⅰ/15回、普通救命講習Ⅲ/3回、上級救命講習/3回)	目標	定例21回 (Ⅰ/15回、Ⅲ/3回、上級/3回)	定例21回 (Ⅰ/15回、Ⅲ/3回、上級/3回)	定例21回 (Ⅰ/15回、Ⅲ/3回、上級/3回)	定例21回 (Ⅰ/15回、Ⅲ/3回、上級/3回)	
		実績	定例18回 (Ⅰ/12回、Ⅲ/3回、上級/3回)	定例16回 (Ⅰ/11回、Ⅲ/2回、上級/3回)	定例15回 (Ⅰ/10回、Ⅲ/2回、上級/3回)	定例10回 (Ⅰ/8回、Ⅲ/0回、上級/2回)	
	・出前救命講習会の実施:随時受付開催	目標	(開催)	(開催)	(開催)	(開催)	
		実績	開催	開催	開催	開催	
	・救命講習に関する普及啓発活動	目標	(実施)	各種イベント等、地元ケーブルテレビ・ラジオで広報活動	各種イベント等、地元ケーブルテレビ・ラジオで広報活動	各種イベント等、地元ケーブルテレビ・ラジオで広報活動	
		実績	実施	出初式、防災フェア、防火委員会、宮古テレビ、FM宮古、広報誌	出初式、防災フェア、防火委員会、宮古テレビ、FM宮古、広報誌、海開き	宮古テレビ	
達成状況説明	・昨年度同様、専属の応急手当普及員を配置し、市民を対象に定例講習会、出前救命講習会を実施した。 ・新型コロナウイルスの影響で定例講習会及び出前講習会の中止があり目標人数を達成出来なかった。 (希望団体等は有ったが感染拡大の為、講習会受付を行わなかった)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	救命講習会受講者1,700名	目標	()	(1,500名)	(1,700名)	(1,700名)	(950名)
		実績		1,646名	1,529名	571名	
	救命講習受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%)を含め本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			71.80%	79.80%	
	進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染拡大により講習会の中止などで目標人数を達成出来なかった。 ・受講者へのアンケートにおいて、「講習会を終えて心肺蘇生法を実施出来るか」との問いに対して実施出来るとの回答が79.8%となり、前年度より改善された。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(救命講習会受講者数) ・新型コロナウイルス感染防止の為、講習会場広さにより受講者数及び人形1体に1名受講者で講習会を行った為人数に制限があり目標人数を達成出来なかった。 (受講者の習熟度検証) ・アンケートにおいて目標を下回った理由として新型コロナウイルス感染防止のため人工呼吸の実技を人形に口をつけずに指導したことにより人工呼吸について理解度が上がらなかったと思われる。	(救命講習会受講者数) ・新型コロナウイルス感染予防対策を行い講習会を開催する。 ・開催方法の見直しや定期的な講習会の受講の呼び掛けを行う。 (受講者の習熟度検証) ・開催方法の見直しや定期的な講習会の受講の呼び掛けを行う。 ・心臓マッサージ及びAED使用の重要性を理解してもらい受講者の自信向上に努める。
今後の取り組み方針		
(救命講習会受講者数) ・新型コロナウイルス感染予防対策をとった講習会を行い、受講者数の増加を目指す。 ・少人数の講習会を多く開催することにより受講者数の増加に繋げる。 (受講者の習熟度検証) ・少人数の講習会を行うことにより指導者1人あたりの受講者を減らし細やかな指導を行い習熟度上げるとともに定期的な講習会の受講を呼びかける。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)										
		総事業費	交付対象事業費	<table><tr><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>7,990</td><td>7,990</td><td>0</td></tr></table>	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,990	7,990	0
交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費								
7,990	7,990	0								
宮古島市 7,990千円	報酬 5,996千円	→	応急手当普及員(3名) 5,996千円	(応急手当普及員への報酬 (3名×12月))						
	職員手当 849千円	→	応急手当普及員(3名) 849千円	(応急手当普及員への職員手当)						
	共済費 1,014千円	→	応急手当普及員(3名) 1,014千円	(応急手当普及員 社会保険料)						
	旅費 131千円	→	応急手当普及員(2名) 131千円	(応急手当普及員 旅費)						

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先選定方法における応急手当普及員については有資格者を採用しているため、妥当であった。 ○事業の適切な運営に伴い、予算執行も適切に行われた。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市						
令和２年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-①	課題を抱える児童生徒の支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－イ		
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進		
						Ⅲ－3－(1)		
事業内容	生徒指導上課題のある児童生徒の生活環境改善のため、個々に応じた支援の充実に向けて、教育委員会にスクールソーシャルワーカーを配置する。また、課題を抱えた児童生徒が在籍する学校に、適切な指導・支援の取組強化のための問題行動学習支援員を配置する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)	予算 の 状 況			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(a) 当初予算額	14,960	15,068	15,167	15,933	20,305
			(b) 予算現額	14,960	13,912	15,167	13,591	17,968
			(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 1,156	0	▲ 2,342	▲ 2,342
			(d) 繰越額	-	-	-	-	-
			A. 計 (b+d)	14,960	13,912	15,167	13,591	17,968
			B. 執行済額	14,757	13,621	12,570	11,361	15,785
			うち交付金充当額	11,805	10,897	10,056	9,089	12,628
			次年度繰越額	0	0	0		
			執行率（％）(B/A)	98.6%	97.9%	82.9%	83.6%	87.9%
			予算の状況の説明	社会福祉士欠員、新型コロナ感染拡大による出張中止の為、余剰となったを2,342千円補正減・他事業に流用した。				
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)			達成状況				
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	スクールソーシャルワーカー 社会福祉士 の配置	目 標	(6人配置)	(6人配置)	(6人配置)	(6人配置)		
		実 績	6人配置	5人配置	4人配置	5人配置 (12月より4人)		
	問題行動等学習支援員の配置	目 標	(3人配置)	(3人配置)	(3人配置)	(3人配置)		
		実 績	3人配置	2人配置	3人配置(7月より2人)	3人配置		
達成 状 況 説 明	・スクールソーシャルワーカーは6人配置予定であったが、人材確保に苦慮し、4月から11月までは5人配置、1人が11月末で退職し、12月からは4人になった。 ・スクールソーシャルワーカーは市内29校(小学校16、中学校13)に1人4～6校の分担で配置、支援を要する児童生徒の生活環境の改善を図り働きを行った。 ・問題行動等学習支援員は市内中学校3校に3名配置する事ができた。問題行動等の生徒の教育相談及び学習支援を行った。また、登校支援及び体験活動の支援などを行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)			基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	不登校児童生徒のうち登校復帰・または学びの場へつながった児童生徒の割合60%以上 (のべ復帰者/のべ不登校者)	目 標	()	(50%)	(50%)	(50%)	(60%)	
		実 績		30%	25%	23%	25%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	・登校復帰率は25%となり、小学校で増加したが、中学校で減少し、目標は未達成となった。 ・中学校において、登校復帰をした生徒の72%は問題行動等学習支援員を配置した3中学校の生徒であった。 ・スクールソーシャルワーカーによる生徒児童や保護者への支援、関連機関との連携が不登校の早期対応、学校復帰につながっている。学校において問題行動等学習支援員、スクールソーシャルワーカーが機能的に活用されている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・目標に届かなかった理由として、子どもたちを取り巻く環境の複雑化に伴いスクールソーシャルワーカーへのニーズも多様化、複雑化しており、対応が困難になっていることが考えられる。また、年度初めからスクールソーシャルワーカーの配置ができず、継続的な支援が困難であったことも要因として考えられる。 ・目標とする登校復帰とはならなかったものの、下記に記載のとおり支援を行い不登校児童生徒の半数以上は週1～3日程度は登校できている。 ①登校支援や学校での居場所の確保など児童生徒の抱える課題に対して、教員との連携を図って個別に支援を行った。 ②不登校の児童生徒の保護者には経済的・精神的にゆとりがない等の傾向や学校に通わせることが絶対ではないという意識の者も増えているため関係機関との情報共有・連携の元、保護者への支援を行った。 ・スクールソーシャルワーカーの資質向上のため研修会へ参加させているが、島外での研修が多く、離島のため参加が限定的である。	・引き続き課題のある児童生徒及びその保護者に対して、学校や福祉事務所等関連施設と連携をとりながらきめ細かな支援を行い、学校若しくは学校以外の学習の場に繋ぎ、将来的な登校復帰、社会的自立につなげる。 ・インターネットを活用し遠隔研修等を導入して研修会への参加を多くし、スクールソーシャルワーカー、問題行動等学習支援員の資質向上を図る。
今後の取り組み方針		
・文科省より、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、関係機関と連携し、学校若しくは学校以外の学習の場に繋ぎ、将来的な登校復帰、社会的自立につなげるという指針が示されていることを踏まえ、不登校児童生徒のうち学校及び学校以外の学びの場につながった児童生徒の割合で効果を検証する。・学校との連携がスムーズにいくように学校訪問による事業の周知と生徒指導研修会、校長研修会、教頭研修会などで、効果的な連携支援について推進していく。 ・連携を必要とする福祉部や保健部等、医療や警察など関係機関連絡会の開催を通して、宮古島市全体の子供の状況を共有化し連携を強化する。また、問題行動等学習支援員、スクールソーシャルワーカーの学校の現状に応じた効果的な派遣を図る。 ・事例検討会、講習会等への参加を増やしてスクールソーシャルワーカー・問題行動等学習支援員の資質向上を図るとともに、スーパーヴァイザー的な人材を確保する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		15,785	15,785	0
宮古島市 15,785千円	報酬(8人) 13,294千円	〔スクールソーシャルワーカー5人:小学校16校、中学校13校 問題行動等学習支援員3人:小学校0校、中学校3校〕		
	職員手当(8人) 1,929千円	〔期末手当〕		
	報償費 52千円	〔講師謝礼金〕		
	旅費 508千円	〔通勤手当〕		
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○スクールソーシャルワーカー等の選定は、専門的な知識や技術、経験等に基づいており妥当であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○長期実績を踏まえたSSW配置人数は適正で、その報酬額は本市要綱に基づき予算化しており、事業内容に見合った適正規模であったと考える。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、報酬をはじめ、SSWの資質向上に向けた研修会派遣など、事業目標達成の観点から真に必要な	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	であったと考える。	

市町村名	宮古島市									
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	7-②		選手派遣支援事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(2)-ア	
	担当部課名				事業実施(予定)年度		沖縄振興基本方針該当箇所		教育機会の拡充	
教育部 学校教育課				平成24年～令和3年度				Ⅲ-3-(1)		
事業内容										
宮古島市立学校のスポーツ・文化活動を振興するため、対外行事・試合などの奨励に資するとともに、参加する児童生徒の派遣にかかる費用の保護者負担を軽減する目的で、地区選抜代表選手等に対し、航空運賃に係る費用の一部を補助する。										
効果発現年度										
■当年度 □後年度(年度)										
実施方法										
□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()										
予算額・執行額【単位:千円】										
(「交付金」+「市町村負担」ベース)		予算の状況	(a)当初予算額	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
			(b)予算現額	15,198	16,121	16,189	16,925	17,471		
			(c)増減額(b-a)	15,198	16,121	17,589	22,723	7,146		
			(d)繰越額	0	0	1,400	5,798	▲ 10,325		
			A. 計(b+d)	—	—	—	—	—		
		B. 執行済額	13,467	16,095	17,546	21,990	2,882			
			うち交付金充当額	10,773	12,875	14,036	17,592	2,306		
			次年度繰越額	0	0	0				
			執行率(%) (B/A)	88.6%	99.8%	99.8%	96.8%	40.3%		
		予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染状況の拡大により、例年実施されている大会の多くが中止となった。その為余剰となった1,302千円を他事業へ流用、9,023千円を減額修正した。年度後半になっても感染状況は安定せず、開催を見込んでいた大会の多くが中止となり4,264千円が予算残となった。						
活動目標(指標)及び達成状況										
R2活動目標(指標)			達成状況							
児童生徒の大会派遣(県内・県外)			目 標	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度			
				(児童生徒の大会派遣)	(児童生徒の大会派遣)	(児童生徒の大会派遣)	(児童生徒の大会派遣)			
			実 績	児童生徒の大会派遣	児童生徒の大会派遣	児童生徒の大会派遣	児童生徒の大会派遣			
				目 標	()	()	()	()		
実 績										
達成状況説明			スポーツや文化面で地区代表選手等として島外へ派遣される延べ361人の児童生徒【小学生(県内)170人(県外)0人、中学生(県内)191人(県外)0人】に対し旅費を補助し、保護者の経済的負担軽減を図った。 ○主な派遣先 ・小学生: 県内「JA共済カップOFA第34回沖縄県U-11サッカー大会」24名、「第35回沖縄県ミニバスケットボール冬季選抜大会」62名 ・中学生: 県内「第44回男子第33回女子沖縄県中学校駅伝競走大会」70名、「第45回沖縄県アンサンブルコンテスト」34名							
成果目標(指標)及び進捗状況										
R2成果目標(指標)			基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)			
・R2成果目標(指標) 児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する			目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()		
			実 績		76%	97%	99%			
			目 標	()	()	()	()	()		
			実 績							
進捗状況説明			・保護者アンケート「お子さんが広い視野を持てたと思いますか」という問いに「そう思う」「ややそう思う」と答えたのは99%であり、目標達成できた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を予定していた多くの大会が中止され、例年に比べ低い執行率となった。 ・感染状況は日々変動し、大会開催日の数日前に中止となる場合もあり、予測が難しい。	・早い段階から中止が決定している大会については、過去の実績と比較し減額修正を行う。 ・大会の開催状況について、主催団体や学校から情報収集を行う。
今後の取り組み方針		
・日々変動する感染状況を把握するのは困難であるが、できるだけ高い執行率を目指し事業全体の把握に努める。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,764</td><td>2,882</td><td>2,306</td><td>576</td><td>2,882</td></tr> </tbody> </table> 宮古島市 2,882千円 補助金 2,882千円 各小中学校 （申請、請求及び受領 保護者へ交付） 2,882千円 保護者負担分 （交付対象外経費） 2,882千円 〔 選手派遣に係る旅費の補助 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,764	2,882	2,306	576	2,882
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,764	2,882	2,306	576	2,882										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣される児童生徒を取りまとめる学校長を支出先とすることは適正であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率は新型コロナの影響により40.3%と低い割合であったが、感染状況が改善した場合に備え前年度と同規模の予算を確保する必要がある。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○航空運賃に対する一部補助であり受益者である保護者の負担もあることから負担関係は妥当であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、交付要綱に基づいた目的に限定して検査及び交付している。											

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③	宮古島市陸上競技場機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(4)-イ	
担当部署名	生涯学習部 生涯学習振興課		事業実施(予定)年度	令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 Ⅲ-3-1	
事業内容	宮古島市陸上競技場を大学や実業団チームも利用可能なトラックの複合弾性舗装や、競技数の拡大が可能となる障害池の深さの嵩上げ等、宮古島市陸上競技場の整備を行う。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(R3年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	56,776				
		(b) 予算現額	56,079				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 697	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	56,079	0	0	0	0
	B. 執行済額		56,079				
	うち交付金充当額		56,079				
	次年度繰越額		—				—
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初交付決定金額56,776千円から、入札残等が生じたため減額を行った。減額幅も過大ではなく予算規模は適切であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度				
	宮古島市陸上競技場トラック・障害池機能強化工事	目 標	(機能強化工事)	()	()	()	
		実 績	機能強化工事				
	宮古島市陸上競技場備品購入	目 標	(備品購入)	()	()	()	
		実 績	備品購入				
達成状況説明	宮古島市陸上競技場トラック・障害池機能強化工事、宮古島市陸上競技場備品購入それぞれ業務期間内に完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(3年度)
	宮古島市陸上競技場トラック・障害池機能強化工事完了	目 標	()	()	()	(完了)	()
		実 績				完了	
	宮古島市陸上競技場備品購入完了	目 標	()	()	()	(完了)	()
		実 績				完了	
	【R3年度成果目標】 島外からの合宿受入れ数:20件 (過去3年間の平均受入れ数:14件) H29:11件、H30:12件、R1:19件	目 標	(11件)	()	()	(20件)	(20件)
		実 績				5件	
進捗状況説明	令和2年度の成果目標である、工事の完了と備品購入完了については年度内完了とすることができた。後年度成果目標として設定した当該からの合宿受け入れ数については、工事期間の確保のため合宿受け入れの制限があったことと、新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用制限を設けたことにより、例年よりも減少し4件にとどまった。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（宮古島市陸上競技場トラック・障害池機能強化工事） 予定期間内に工事を完了することはできたが、長雨の影響で工事がストップした期間が発生した。また、地元の各種陸上競技大会や、島外からのキャンプ日程の調整に時間を要したことと、利用者からの工事期間中の利用希望が多かった。 （宮古島市陸上競技場備品購入） 年度内に完了できたが、品番の確認等に時間を要するため余裕を持った事業申請、事業執行が必要だった。 （島外からの合宿受け入れ数） 工事期間の確保のための受け入れ制限と、新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用制限を設けたため、令和2年度実績に影響があった。	（宮古島市陸上競技場トラック・障害池機能強化工事） （宮古島市陸上競技場備品購入） 機能強化工事と備品購入については、年度内完了しており、単年度事業のため特に改善余地はない。 （島外からの合宿受け入れ数） 宮古島市スポーツ協会、県スポーツ協会等関係機関と連携し、島外からの合宿を積極的に受け入れ目標達成につなげる必要がある。
今後の取り組み方針		
（島外からの合宿受け入れ数） 宮古島市スポーツ協会、県スポーツ協会等関係機関と連携し、島外からの合宿受け入れを積極的に行う。一方で、新型コロナウイルス感染の状況が見通せないため、必要があれば利用者の安心安全を優先し、利用制限を設け、継続的な合宿誘致を行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
宮古島市 56,079千円 工事請負費 49,972千円 横浜ゴムMBジャパン株式会社九州カンパニー 49,972千円 （宮古島市陸上競技場 公認改修工事） 備品購入費 5,665千円 教育システム渡真利 5,665千円 （宮古島市陸上競技場 公認備品購入） 委託料 442千円 （有）スポーツショップライカム 442千円 （公認備品点検委託） <table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>56,079</td><td>56,079</td><td>44,863</td><td>11,216</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	56,079	56,079	44,863	11,216	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
56,079	56,079	44,863	11,216	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入札および特定随契のため適切に選定している。 ○事業費は適正な規模であった。 ○特定される受益者はいないため受益者負担については問題ない。 ○費目・使途については事業目的達成のため必要なものに限定し執行した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		宮古島市							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		7-④ 演奏活動推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(1)-(ア)			
担当部署名		教育部 学校教育課		事業実施(予定)年度 令和2年度		地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成			
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)			
事業内容		低所得の割合が高い当市において、高価な楽器を購入することは負担が大きく、難しい状況である。 吹奏学部の楽器整備が十分ではない学校に、必要な楽器を整備することで児童生徒の意欲向上、地域イベント等に参加することにより地域活性化を図る。							
効果発現年度		■当年度 ■後年度(令和3年度)							
実施方法		■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				R2年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		予算の状況	(a) 当初予算額	3,351,000					
			(b) 予算現額	3,135,000					
			(c) 増減額 (b-a)	▲ 216,000	0	0	0	0	
			(d) 繰越額						
			A. 計 (b+d)	3,135,000	0	0	0	0	
		B. 執行済額		3,135,000					
		うち交付金充当額		2,508					
		次年度繰越額							
		執行率 (%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		計画どおり事業執行を行い、入札残が生じたことから216千円の減額を行った。							
活動目標(指標)及び達成状況		R2活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度					
		吹奏楽器の整備(宮古島市立下地中学校)	目標	(10台・1式)	()	()			
			実績	10台・1式					
			目標	()	()	()	()		
実績									
達成状況説明		計画に沿って吹奏楽器、フルート2台、クラリネット2台、トランペット2台、アルトサックス2台、テナーサックス1台、バリトンサックス1台、ドラムセット1式を、宮古島市立下地中学校に整備した。							
成果目標(指標)及び進捗状況		R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度			目標値(3年度)	
		吹奏楽器の整備完了	目標	()	(100%)	()	()	()	
			実績		100%				
		【参考指標】 ・楽器の整備により部員の音楽に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、部活動のあり方についてアンケート調査により検証する。 ・楽器購入後に参加した複数のイベントへの総来場者数:6,000人。	目標	()	()	()	()	(80% 6,000人)	
			実績						
進捗状況説明		・吹奏楽器の整備がなされたことにより、部活動の充実が図られた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・楽器の不足により、練習機会の確保が困難で、演奏技術の習得に支障をきたし、音楽活動への意欲低下が懸念されていた。 ・計画どおり必要な楽器を整備することができた。	・整備した楽器の有効活用を、最大限に発揮するための仕組みづくりを行う。 ・整備した楽器の取扱いに十分注意し、適切な維持管理を行う。
今後の取り組み方針		
・保有する楽器の適正な維持管理を行い、更なる地域活性化を図る。 ・児童生徒に対し、楽器の正しい取扱いの指導を徹底する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）																
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象事業費</th><th colspan="2">交付金充当額</th><th rowspan="2">交付対象外経費</th></tr> <tr> <th>市町村負担金</th><th></th></tr> <tr> <td>3,153</td><td>3,135</td><td>2,508</td><td>627</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費	市町村負担金		3,153	3,135	2,508	627	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費												
		市町村負担金														
3,153	3,135	2,508	627	0												
宮古島市 3,135千円 → 備品購入費 3,135千円 → あかと 3,135千円 〔吹奏楽器の整備〕																
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明													
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名選定しており、妥当であったと考えている。 ○予定価格は見積もり徴収により積算したが、入札残の減額補正を行った。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	宮古島市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	高等教育機関の設置検討事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ		
担当部署名	企画政策部 企画調整課	事業実施 (予定)年度	平成28年～令和2年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生活圏の充実		
事業内容	実際の高等教育機関の運営形態に近似する学生募集・入学・就学・卒業・就職の一連の流れを実施することで、本市における高等教育機関設置に向けた実現性の検証を行う。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和4年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,804	7,344	46,039	36,300	54,100
		(b) 予算現額	6,804	7,344	32,959	36,300	52,800
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 13,080	0	▲ 1,300
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	6,804	7,344	32,959	36,300	52,800
	B. 執行済額		5,106	6,921	23,141	35,019	52,800
	うち交付金充当額		4,805	5,537	18,512	28,014	42,240
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		75.0%	94.2%	70.2%	96.5%	100.0%
予算の状況の説明		当初54,100千円を予定していたが、業者選定後で協議した金額での契約となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	高等教育機関の設置実現に向けた実証業務の実施	目 標	(実施)	(実施)	()	()	
		実 績	実施	実施			
		目 標	()	()	()	()	
実 績							
達成状況説明	委託業者により、下記の取組を実施した。 ・学生募集 ・教育カリキュラムOJTの実施 ・上記内容の実証について、実行委員会による検証の実施						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)
	高等教育機関の設置実現に向けた実証業務の完了	目 標	()	()	()	(完了)	()
		実 績				完了	
	【R3成果目標】 高等教育機関の設置認可 1件以上	目 標	()	()	()	()	(1校)
		実 績					
進捗状況説明	・実証したコースはともに定員を満たすことができ、本市における高等教育機関の可能性について把握できた。 ・HPのアクセスが昨年度と比較して増加していることから、県内外からの学生確保の可能性が把握できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初の予定では、市内、県内、内地、海外からの研修生を対象としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大のために、第1期については、島内からの研修生に限定せざるを得ない状況となった。第2期については、島外からの研修生も参加することができたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、実施期間の変更及びリモートでの研修を実施せざるを得ない状況となった。 実施した講座としては、昨年度の事業では、「介護」「リハビリテーション」「観光」「語学」の4コースを開催したが、コースにより参加者のばらつきが出たため、今年度は「リハビリテーションコース」と「観光人材育成コース」に絞って事業を実施した。 海外へのアプローチは、新型コロナウイルス感染症拡大のために研修生の募集ができない状態となったためにHPの多言語化などの十分な展開ができなかった。	今回の実証事業では、スケジュールの変更、カリキュラムの見直し、リモート研修など様々な対応を余儀なくされた。しかしながら、今後はアフターコロナも考慮した事業形態も求められると考えられることから、対面が困難な事態に陥っても研修可能な体制を整えることができたことは、今後事業を実施するうえで非常に有用であったと考える。
今後の取り組み方針		
高等教育機関の設置について、広報の方法、開講コース及び生徒募集の可能性が確認できた。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大などの不測の状況変化にも対応できる手法を構築する必要がある。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52,800</td><td>52,800</td><td>42,240</td><td>10,560</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	52,800	52,800	42,240	10,560	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
52,800	52,800	42,240	10,560	0										
宮古島市 52,800千円 委託料 52,800千円 学校法人琉美学園 52,800千円 高等教育機関の設置に向けた実 現性検証委託														
資金の 使途の 流れ・ 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は公募型プロポーザル方式にて実施し、公平かつ公正な決定により選定している。 ○予算規模においては、複数事業者より見積もりを徴し、積算を行う等、適正な規模の確保に努めている。 ○事務委託は概算契約により締結し、完了時に事業対象となる経費のみ精算しており、必要な使途に限定している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	宮古島市							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	10-①	地下水保全調査事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章－3－(4)－エ		
担当部課名	上下水道部 水道総務課	事業実施 (予定)年度	平成29年～令和2年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	生活基盤の充実		
						Ⅲ－10－1		
事業内容	地下水を唯一の淡水資源とする本市では、水道水源の保全が社会の成立案件となっていることから、持続的な社会を構築するため、地下水の保全に取り組むための水源地選定調査、モニタリング調査を行う。 ①伊良部島における水源候補地選定調査 ②平良地下水流域における水源候補地選定調査及び流域保全方針検討 ③地下水に含まれる硝酸性窒素の起源別割合検討調査							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和3年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	104,328	37,000	79,037	89,595		
		(b) 予算現額	98,388	34,560	79,037	110,612		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,940	▲ 2,440	0	21,017	0	
		(d) 繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	98,388	34,560	79,037	110,612	0	
	B. 執行済額		98,388	34,560	77,000	110,612		
	うち交付金充当額		78,710	27,648	61,600	88,489		
	次年度繰越額		0	0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	97.4%	100.0%	#DIV/0!	
予算の状況の説明		当初申請時は事業費89,595千円であったが、事業実施中に追加調査の必要性が生じたため年度途中での変更契約に係る増額申請を行い、総事業費110,612千円(増21,017千円)となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	①伊良部島における水源候補地選定調査	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	②平良地下水流域における水源候補地選定調査及び流域保全方針検討	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	③地下水に含まれる硝酸性窒素の起源別割合の現状把握調査	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	達成状況説明	①伊良部島の地下水は淡水レンズとされ、開発可能な地下水は少ないことに加え、硝酸性窒素濃度も高いことから現在は宮古本島より水道水を送水している。しかし、観光客の増加、地震等に伴う断水の可能性を踏まえると伊良部島においても、予備的水源を確保する必要がある。前年度まででは伊良部島の東側に水源候補地に該当し得る箇所を選定し、本年度は、候補地となった箇所と現在は使用停止中である旧伊良部水源2号井戸の計2箇所での揚水試験を行い、周辺の地下水利構造並びに水質把握のためのボーリング調査、電気伝導率測定、水質測定を行った。 ②現在、ニヤーツ水源地のある平良地下水流域は水道水源保全地域に指定されていない。そのため、塩水状況、流域界を確定し、ニヤーツ水源地に影響を及ぼし得る範囲を水道水源保全地域に設定する必要がある。今回の調査では平良地下水流域界の特定を図るべく、ボーリング調査、電気伝導率測定を行い、更に平良流域内での新水源候補地を選定するべく、候補地上流付近での流向流速調査、候補地での揚水試験を行った。 ③推計されてから20年以上が経過した「宮古島の地下水に含まれる硝酸性窒素起源別割合」について再検討した結果、現状の窒素負荷量及び起源別割合を把握することができた。						
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度		目標値 (R4年度)
①伊良部島における水源候補地選定調査の完了		目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
②平良地下水流域における水源候補地選定調査及び流域保全方針検討の完了		目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
③地下水に含まれる硝酸性窒素の起源別割合の現状把握調査		目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
【R3成果目標】 ・伊良部島における予備水源地の確保 ・平良地下水流域の水道水源保全地域の確定 ・業務結果を基に、市の地下水保全に係る施策及び緒計画を検討する。		目 標	()	()	()	()		
		実 績						

	進 捗 状 況 説 明 ①伊良部島における水源候補地選定調査については、旧水源2号井戸と新水源候補地の2箇所で揚水試験を行った。旧水源2号井戸では、ある揚水量を超えると塩水化が進行することが顕著に現れたので、限界揚水量の他、水質変化を踏まえた揚水量の決定を検討する必要があることがわかった。新水源候補地で行った揚水試験では大幅な塩水化の変化は見られず、約570m³/日の揚水量が望める結果が得られた。 ②平良地下水流域における水源候補地選定調査については、新水源候補地での揚水試験結果から約2,000m³/日の揚水量が望める結果が得られたが、試験地の不透水性基盤上面が標高約-21mと深いことから将来の温暖化により海面が上昇した際に揚水を行うと塩水を引き込んでしまう恐れがあるため、揚水によって地下水位を下げすぎないように注視していく必要性が高いことがわかった。 平良流域の流域保全方法の検討については、従来通りに流域界全体を水道水源保全地域に指定することはせず、現在水源地として使用しているニャーツ水源地及び今年度揚水試験を行った水源候補地に影響を及ぼす範囲を水道水源保全地域と指定することが望ましいという検討結果が得られ、その保全範囲を選定することができた。 ③今回の業務で、離島を含む宮古島市全33カ所の地下水流域についての窒素負荷量及び硝酸性窒素の起源別割合（特徴）を把握することができた。
--	--

	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
取組の検証	①伊良部島における水源候補地選定調査については、旧伊良部水源2号井戸と新水源候補地の2箇所で行ったが、伊良部島の地下水は淡水レンズとなっており、ところがほとんどであり、過度な揚水量を設定してしまうと淡水レンズを破壊しかねることが予測されるので、限界揚水量のほか、水質変化を踏まえた揚水量を検討する必要がある。 ②平良地下水流域における水源候補地選定調査については、揚水試験地の不透水性基盤上面が標高約-21mと深いことから将来の温暖化により海面が上昇した際に揚水を行うと塩水を引き込んでしまう恐れがあるため、揚水によって地下水位を下げすぎないように注視していくことが求められる。 平良流域の流域保全方法の検討については、従来通りに流域界全体を水道水源保全地域に指定することは、現在の経済状況、流域内の海岸部の塩水化状況等を考慮すると現実的ではなく、現在水源地として使用しているニャーツ水源地及び今年度揚水試験を行った水源候補地に影響を及ぼす範囲を水道水源保全地域と指定することが望ましいとなった。 ③地下水への窒素負荷量が前回調査（1998年度）時より全体で26%減少しており、起源別の内訳において、肥料由来が13%減、家畜糞尿由来が55%減、生活排水由来が25%減となっていることが判明した。今までの施策である緩効性肥料の活用、家畜糞尿や生活排水の適正処理の効果によるものと考えられる。	①伊良部島における水源候補地選定については、新水源候補地での揚水試験では約570m³/日の揚水量が期待できる結果となったが、周囲の淡水範囲として推定された地域内では新規の水源候補地も期待できるため、周辺地域でのボーリング調査箇所を増加、新水源開発のための揚水試験を実施し、伊良部島東部での地下水理構造、地下水質、並びに新水源候補地などを調査していくことが必要となる。 ②平良地下水流域の保全方法検討については、現在利用しているニャーツ水源地及び揚水試験を行った新水源候補地に影響を及ぼし得る範囲を保全地域とするための保全範囲を選定したが、現在の社会状況を踏まえどのような規制方法が妥当かを検討していくが必要になる。新水源候補地の選定については、将来的な塩水化の懸念も残っているため、今後も地下水観測などを継続的に行う必要がある。 ③推計精度向上のための、次回調査へ向けての改善方法として、「肥料由来」は、(1)JA以外の肥料販売量、(2)流域別作物別農地面積、(3)作物別施肥量（施肥基準）、(4)施肥方法・時期、「家畜糞尿由来」は、(1)家畜糞尿の処理方法（最終的な行き場）、(2)堆肥の散布場所、(3)堆肥の発酵状態、「生活排水由来」は、(1)流域別施設別処理方法、流域別施設別地下浸透量（施設使用数）、について現地確認やヒヤリングによる確認も行っていく。
今後の取り組み方針		
①伊良部島東側の地下水理構造および水質状況の追加調査を行い、新たな水源開発の可能性を図っていく。 ②平良地下水流域の保全範囲の指定のため、規制方法の検討等を行い、宮古島市地下水保全条例の中でニャーツ水源地及び新水源候補地において水道水源保全のために必要な範囲を水道水源保全地域に設定していく。 また新水源候補地の活用については、事業計画等を策定し将来的に水源地として使用できるよう取り組んでいく。 ③把握した地下水流域別の起源別割合の特徴を分類化し、分類別（地下水流域別）にさらなる窒素負荷量の低減対策を練っていく。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
110,612	110,612	88,489	22,123	0

宮古島市
110,612千円

委託料
110,612千円

(株)エイト日本技術開発
99,117千円

①伊良部島における水源候補地選定調査

②平良地下水流域における水源候補地選定調査及び流域保全方針検討

(一財)沖縄県環境科学センター
11,495千円

③地下水に含まれる硝酸性窒素の起源別割合検討調査

資金使途の点検・評価

評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入力で選定しており、妥当であったと考えている。 ○専門的な調査内容であり、適正であると考ええる。 ○本事業の受注コンサルタントはこれまで宮古島の地質及び地下水について調査実績が豊富である。その調査結果は唯一の淡水資源とする本市においては、市民生活、観光サービス、その他の産業を支えるため、水道原水となる地下水の保全は必要不可欠であるため、今後においても継続調査を行う必要がある。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市						
令和２年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		11-① 城辺地区世代間交流施設等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(2)-イ		
担当部署名		福祉部児童家庭課		事業実施(予定)年度 令和1年～令和3年度		子育てセーフティーネットの充実		
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-4		
事業内容		児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地域に子どもや高齢者など多世代が集い、交流できる機能などを備えた施設を整備する。						
効果発現年度		□当年度 ■後年度(令和4年度)						
実施方法		□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		予算の状況	(a)当初予算額	4,178	7,224			
			(b)予算現額	4,178	17,230			
			(c)増減額(b-a)	0	10,006	0	0	0
			(d)繰越額	0	0			
			A.計(b+d)	4,178	17,230	0	0	0
		B.執行済額		3,974	17,230			
		うち交付金充当額		3,179	13,784			
		次年度繰越額		0	0			
		執行率(%) (B/A)		95.1%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		R2年度当初においては基本設計のみ交付決定を受けていたが、進捗に合わせて実施設計を追加申請し、年度内の増額の交付決定をいただいた。 入札差金は適宜予算減額を行い、不用額抑制に努めながら適正に執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況		R2活動目標(指標)		達成状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		基本設計及び実施設計の実施	目標	(基本計画の策定完了)	(基本設計及び実施設計の完了)	()	()	
			実績	基本計画の策定完了	基本設計及び実施設計の完了			
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	R2.6.1 城辺地区福祉施設等(児童館・複合施設)基本設計業務委託契約 R2.9.3 業務完了(業務成果物引渡) R2.10.20 城辺地区福祉施設等(児童館・複合施設)実施設計業務委託契約 R3.3.17 業務完了(業務成果物引渡)							
成果目標(指標)及び進捗状況		R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
		基本設計及び実施設計の完了	目標	()	(基本計画の策定完了)	(基本設計及び実施設計の完了)	()	()
			実績		基本計画の策定完了	基本設計及び実施設計の完了		
		【令和4年度成果目標】 ・施設利用の児童保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・施設利用の児童と交流した高齢者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	(80%)
			実績					
		進捗状況説明	基本設計及び実施設計業務について、年度内に完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	R2年度事業は予定通り完了した。 R3年度においては、R4年度の供用開始を目指し、R3年度内に整備工事を完了するため工程管理等を綿密にする必要がある。	R4年度の供用開始をスムーズに行うために、R3年度において運営事業者の選定及び運営方法(事業実施要綱)を決定する必要がある。
今後の取り組み方針		
R3年度は年度内工事完了、R4年度供用開始にむけて工程管理(進捗・コスト)を綿密に行う。 また、供用開始後の利用者の満足度を上げるため、地域からの要望を把握し、事業者選定や運営方法検討の際に活用する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>17,230</td><td>17,230</td><td>13,784</td><td>3,446</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	17,230	17,230	13,784	3,446	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
17,230	17,230	13,784	3,446	0										
宮古島市 17,230,000円 委託料 5,632,000円 (株)基建築設計 5,632,000 (城辺地区複合施設等(城辺児童館・複合施設)基本設計業務委託事業) 委託料 11,598,000円 (株)基建築設計 11,598,000 (城辺地区複合施設等(城辺児童館・複合施設)実施設計業務委託事業)														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○執行率100%であり、適正な規模であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○委託料以外の支出は無く、適正であった。											

市町村名	宮古島市							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	11-②	幼保連携型認定こども園整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ			
担当部署名	福祉部 子ども未来課	事業実施 (予定)年度	令和2年度～令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	子育てセーフティーネットの充実			
事業内容	働く保護者等の育児負担の軽減を図るため、伊良部地区に公立幼保連携型認定こども園を整備する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和4年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	14,850					
		(b) 予算現額	13,950					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 900	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0				0	
		A. 計 (b+d)	13,950	0	0	0	0	
	B. 執行済額		13,950					
	うち交付金充当額		11,160					
	次年度繰越額		0				0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		当初予算額14,850千円を予定していたが入札を行ったところ、入札残が生じたため900千円を減額した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	実施設計業務委託	目 標	(実施設計業務委託)	()	()	()		
		実 績	実施設計業務委託					
		目 標	()	()	()	()		
実 績								
達成 状況 説明	幼稚園及び保育所の機能を併せ持つ認定こども園を整備することで、保護者の就労状況や家庭環境の変化等に関わらず、就学前の子どもに教育・保育を一体的に提供できる様にするため、伊良部地区幼保連携型認定こども園の実施設計を行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)	
	実施設計業務委託	目 標	() (実施設計業務委託)	()	()	()		
		実 績		実施設計業務委託				
	【参考指標】 施設利用によって育児負担が軽減されたかを 含め、施設を利用した児童の保護者等に対する アンケートにより、本事業あり方を検証する。	目 標	()	()	()	(80%)	()	
		実 績						
進 捗 状 況 説明	実施設計業務委託を年度内に完了した。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	令和4年度の供用開始に向け、令和3年度は建設工事を行うため、週1回程度の行程会議等を行い、早期完成を目指し工程管理を徹底する。	工事上の問題等（支持地盤の相違、敷地面積の相違など）が発生した場合は、事業者及び請負業者と早急に協議し、繰越工事にならないよう努める。
今後の取り組み方針		
令和3年度には工事を着手し、発注者、請負者、施工監理業者と連携を図り、迅速な対応、早期解決、過度な資料作成を抑え、工期内完成を目指す。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>27,901</td><td>13,950</td><td>11,160</td><td>2,790</td><td>13,951</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	27,901	13,950	11,160	2,790	13,951
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
27,901	13,950	11,160	2,790	13,951										
宮古島市 13,950千円 → 委託料 13,950千円 → 長崎設計研究所 13,950千円 （仮称）結の橋こども園新築工事実施設計業務委託														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○令和2年7月、業者指名選定委員会を開催しその後入札を行った結果、長崎設計研究所が落札し業務を完了した。契約金額に変更はないが、入札残が生じたため、事業費を（交付対象事業費）13,950千円に変更した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												